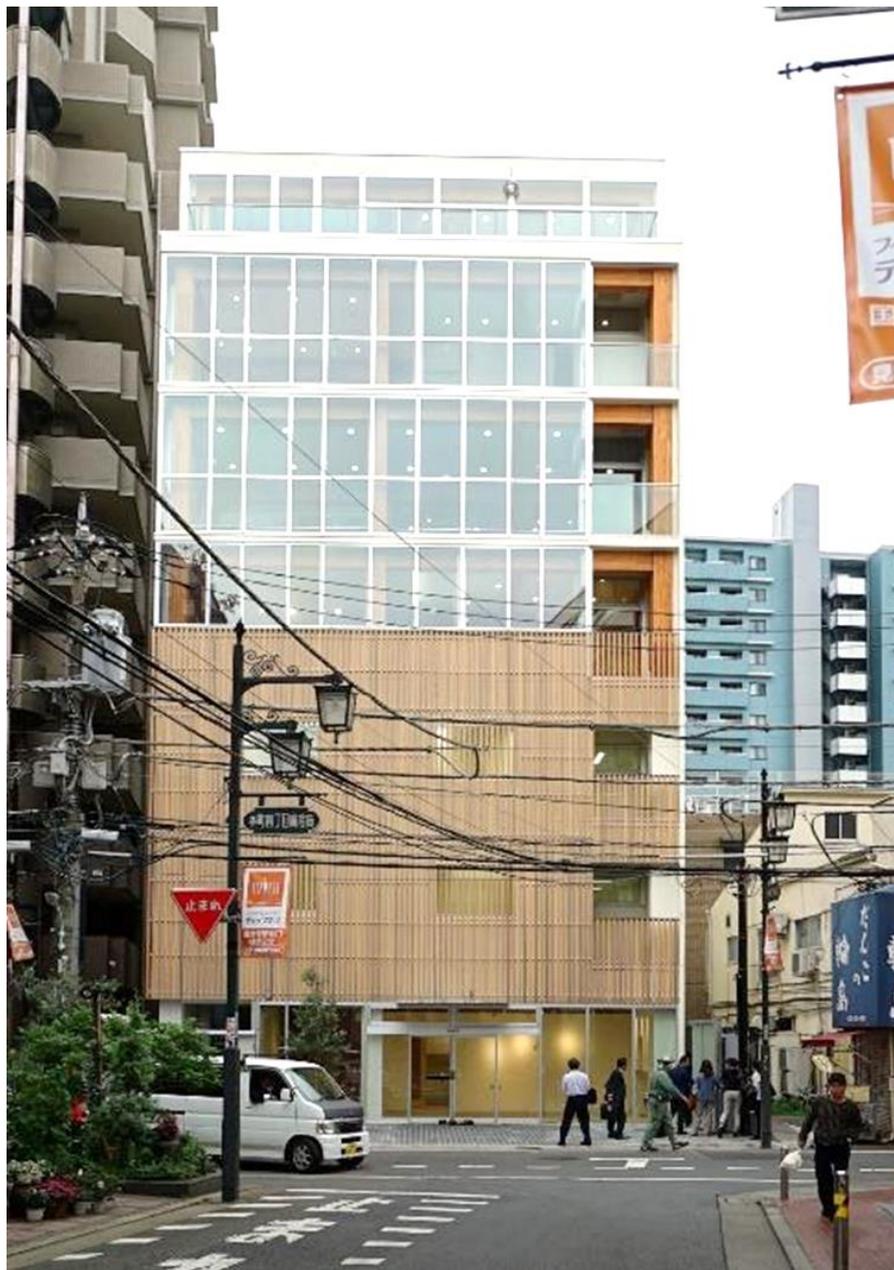


高知に建つ都市木造を考える



国分寺フレーバーライフ社ビル (2017/東京)

森林資源の有効活用から木造建築が再評価され、新たな木造建築「都市木造」が生まれました。

高密度に居住する都市部に木造で十分な耐震性、耐火性能を持った4、5階建ての多層建築物が研究開発されています。

TOSAZAIセンターでは東京大学生産技術研究所 NPO法人 team Timberize の腰原幹雄先生とともに高知県産木材を使った、中高層木造建築物の部材開発を進めています。



4階建て都市木造構造モデル

写真は腰原先生のプレゼン資料から引用させていただきました。

都市木造の建築部位を意識した、高知発の都市木造の部材開発に向けて



平成 31 年 3 月 14 日に team Timberize 理事長の腰原 幹雄 氏、久原 裕 理事、八木 敦司 理事の 3 人を迎えて、「高知に建つ都市木造を考える」というテーマでセミナーを開催し、県内の製材、木工、設計等の関係者約 50 人が参加しました。

本セミナーは、高知発の都市木造の部材開発のキックオフであり、4 月以降、具体的な開発に向けて活動していきますので、ぜひ皆さん、積極的な参加をお願いします。

非住宅建築物木造化に向けての相談窓口の開設

平成 31 年 4 月以降、TOSAZAI センターへ開設予定

県内の非住宅建築を木造化するに当たって、一元的に相談に応じる業務を中心として行うもので、県内の建築関係団体や林業大学校、そして team Timberize と連携・協働していきます。

<主な業務内容>

- ・市町村や民間の発注、設計に当たってのアドバイス
- ・設計プロポーザルの審査
- ・木質建築材料に関する情報提供や資材調達に関すること
- ・発注者向けの研修会



J R 駅へ木製ベンチを設置

四国四県の木材協会等では地域材の需要拡大と普及啓発を図るために平成 29 年度に四国八十八箇所へ木製ベンチを設置しました。

今回は更なる取り組みとして、J R 四国の各駅に働きかけを行いました。

四国内 40 の駅から設置の希望があり、高知県内では今年度 4 台の設置を行いました。

高知駅内に 2 台(木学会)、吾桑駅、後免駅に 1 台ずつ(山崎工芸)の高知県産桧でできたベンチが設置されました。



2/12 J R 後免駅へ設置の状況



J R 吾桑駅への設置風景

東京 WOOD コレクション(モクコレ)

日本国内で開催されるビッグイベントの中で「木材の活用にとったもの」としてはモクコレだけになります。全国から 40 の都道府県が参加し、各県の特徴を生かした展示を行いました。高知県も昨年に引き続き T O S A Z A I の品質の高さをアピールしてきました。また、開会のセレモニーにて土佐草木花による桧カナバのコサージュが採用され、都知事を始め約 20 名の来賓の方々にご着用頂きました。

東京都知事の小池百合子氏も高知県ブースを視察されました。



来場者数は 2 日間で約 4,500 人

開催日：平成 31 年 1 月 29 日(火)～30 日(水)

場所：東京ビッグサイト 7・8 ホール

参加者：(株)土佐龍・(株)井筒屋・

(協)ドライウッド土佐会・

(社福)小高坂更生センター・

クルミ工房・

土佐材流通促進協議会・

高知県林業活性化推進協議会・

高知県木製品工業連合(協)



ビジネスフェア中四国 2019 (広島)

食品などがメインの展示商談会でした。

高知県からも高知食糧や大川村ふるさと公社など 12 のブースが出展していました。

木製品は高知から出展した 3 社以外には少なく、TOSAZAI の展示コーナーは全体の中でも目立つ存在となりました。初日は B to B、2 日目は一般客も入場し、賑わいました。



開催日：平成 31 年 2 月 8 日(金)～9 日(土)

場所：広島市中小企業会館総合展示場

参加者：(有)戸田商行・(株)土佐組子・

高知県木製品工業連合(協)

来場者：2 日間合計 3,856 人

(企業 460 社 710 人、一般 3,146 人)



建築建材展（東京ビックサイト）



開催日時：2019/3/5(火)～3/8(金)

10：00～17：00

場所：東京都江東区有明3丁目11-1
東京ビックサイト 東5ホール

県内参加団体：

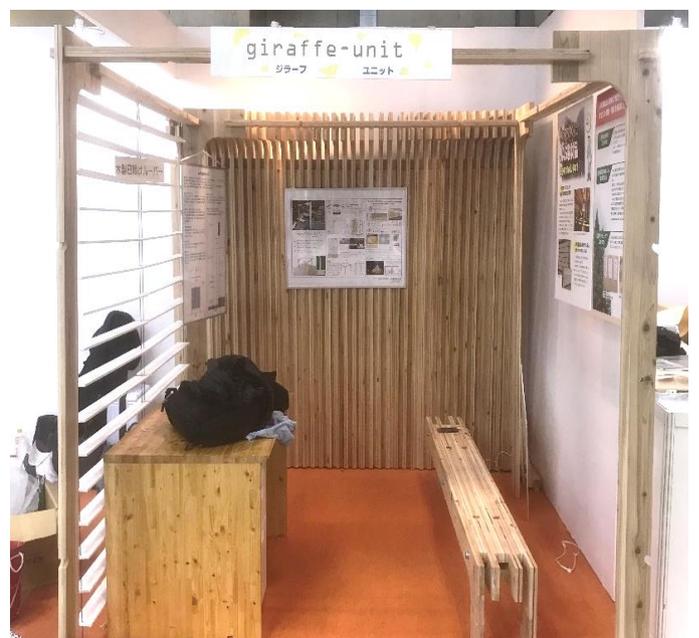
- ・パーフェクトウォールジャパン
- ・アークリエイト
- ・モリシカ
- ・関西仮設
- ・土佐材流通促進協議会
/林業活性化推進協議会
- ・協力 高知県森林技術センター、
萩野設計事務所、
艸建築工房、
四万十町森林組合大正集成材工場、
小松建築(安芸市)

来場者数： ※カッコ内は昨年
"3月5日(火) 晴れ 18,067人(17,905人)
3月6日(水) 曇り 24,469人(24,268人)
3月7日(木) 雨一時曇り 27,655人(25,652人)
3月8日(金) 晴れ 31,546人(28,847人)
合計 101,737人(96,672人)

各種建材や関連製品を幅広く展示、紹介する国内有数の建築総合展に出展しました。

ジラフユニット・日よけルーバーは高知県林業活性化推進協議会の非住宅構造物木造化推進チームが開発中の新商品です。

デモンストレーションすることにより、多くの来場者からのご質問、ご意見を頂き今年10月に開催する木工機械展への貸し出し依頼などへ繋がりました。業界関係者の来場が非常に多く有意義の出展となりました。



平成 30 年度高知県木材普及推進協会視察研修

毎年開催している県外研修に今年は徳島県へ 1 泊 2 日で行きました。

実施日：平成 31 年 2 月 15(金)～16 日(土) 参加者：18 名。

研修地 ① (株) 日新 四国工場 小松島市横須町 5-38

合板の加工工場で年間約 20 万 m³の原木を材料として消費しています。



研修地 ② ウッドファースト (株) 徳島製材工場 小松島市和田津開町北 398 番地

原木の消費が年間約 3 万 6 千 m³の製材工場、出荷先はナイスグループ内の市場。



研修地 ③ 第 6 回木育サミット in 徳島 あわぎんホール



徳島県と三好市がウッドスタート宣言をしました。

これまで日本は国策として植樹・育樹を続けて来ましたが、これからは活樹の時代として日本の将来を担う子供達が木にもっと触れるような取り組みを進めていこうというテーマで話し合われました。

ご参加頂いた皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました！

平成 30 年度第 2 回経営セミナー



開催日：平成 31 年 2 月 22 日(土)

場所：新ロイヤル四万十ホテル

参加者：46 人

講師：森林総合研究所 四国支所

支所長 小林 功 氏

テーマ：「木材乾燥について」



第 9 回優良土佐材見本市に参加していただく県内外の買い方や荷主の方々を対象に森林総合研究所四国支所支所長の小林功氏より木材乾燥についてご講演頂きました。講演内容としては、

- ・乾燥不十分や過乾燥による不具合と乾燥の必要性
- ・県内外の製材品出荷量と乾燥材比率
- ・製材品やチップ用含水率計
- ・効率的な乾燥スケジュール
- ・大径材に対応した建築部材に要求される製材品の安定供給技術の開発

であり、有意義な時間となりました。また講演会后、懇親会を開催し個別に意見交換をおこないました。

第 9 回優良土佐材見本市

(協) 高知木材センター・(協) 高幡木材センター・(協) 西部木材センターの 3 木材市場共催の合同市です。土佐材流通促進協議会が発足して以来ずっと継続してきました。



開催日：平成 31 年 2 月 23 日(土)

場所：(協) 西部木材センター

参加者：買い方約 40 人(来場 70 人)

総出荷材積 約 800 m³

販売材積 約 532 m³

販売金額 約 42,600(千円)



今回で第9回目となる優良土佐材見本市を（協）西部木材センターで開催しました。今回は丸太不足などの影響で、前回より出材が少ないなかでも県内14社から約800㎡の製品が出展され、県内外から多くの買い手の来場があり、盛大に開催することができました。

若手建築士意見交換会

2月23日(土)に行われた優良土佐材見本市終了後、高知県建築士会青年委員会のメンバーが参加して見学会を行いました。

役物製品や、表面仕上げの等級の違いについて説明を受け、設計側からも木の活用方法を考える機会となりました。

～建築士参加者～

大平、溝渕、今西、山下、山崎、北添（計6名）



「土佐の自然素材で家づくり」商談会 in 姫路

消費地商談会を初めて兵庫県の姫路市で開催しました。自然素材の家づくりにこだわりのある工務店とじっくり商談が行えました。

数日後、すぐに土佐材パートナー企業への登録申請もあり、今後の取引拡大に期待が持てます。

開催日：平成 31 年 3 月 7 日(木)

場所：姫路商工会議所

来場者：4 社 5 人

高知県側参加者：

梶原町森林組合、
(協)ドライウッド土佐会、
(協)高知木材センター、
田中石灰工業(株)、
(株)クロスロード



第45回ナイスふれあいフェア

毎年2回、春と秋に開催されるナイス岡山市場のフェアに高知県販売拡大拠点である岡山扇木材(株)と竜野ハウジング(有)が出展しています。

高知県産材がメインのコーナーでは高知家の幟などを設置して TOSAZAI ブランドの販売拡大をおこないました。



開催日：平成 31 年 3 月 8 日(金)
場所：岡山県瀬戸内市 ナイス岡山市場
拠点：岡山扇木材(株)
竜野ハウジング(有)
参加者：約 1,000 人
土佐材出荷材積 約 82 m³
販売材積 約 50 m³
販売金額 約 4,000(千円)



木育推進セミナー開催 ～高知県木材普及推進協会活動～

東京おもちゃ美術館の多田館長を講師としてお招きし、木育推進セミナー「赤ちゃんから始める生涯木育」を2月1日に高知市のソーレで開催しました。佐川町の小田町長、区市町村の行政担当者、木育インストラクター、木製品製造業者等多くの方に参加していただき、木育の必要性、木育推進と地方創生の全国の事例等を学びました。参加者からは木育を推進するための市町村へのアプローチの仕方等多くの質問が寄せられ、木育活動を推進する機会となりました。



木育推進セミナーの様子



東京おもちゃ美術館 館長 多田千尋氏

こうち環境博 2019 への木推協出展

2月2・3日に高知市ソーレで開催された環境の杜こうち主催のイベント「こうち環境博 2019」に、“一日まるごと木のおもちゃ”と題して「積み木」や「木んぎょ」すくい等のおもちゃを出展しました。多くの親子連れがおもちゃを通じて木に触れ合い、楽しい時間を過ごして、木育の体感を提供することができました。



“木んぎょ”すくいに夢中



積み木で遊ぼう



ワークショップ 木のスプーン作り

木材製品の消費拡大対策

【平成30年度第2次補正予算額 4,529,866千円】

平成30年度補正予算の内容が下記の通りとなりました。

<対策のポイント>

木材製品の国際競争力を強化するため、非住宅分野等における木材製品の消費拡大等を支援します。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（30百万m³ [平成29年] →40百万m³ [平成37年]）

<事業の内容>

1. JAS 構造材実証支援事業 2,407,327千円

① 工務店等木材の実需者や発注者における、JAS 構造材（無垢製材、CLT）を積極的に活用する気運を高めるため、「JAS 構造材活用拡大宣言」運動を展開する普及活動を支援します。また、宣言を行った事業者を登録・公表し、成果の見える化を図ります。

② ①の登録事業者（建築業者）が、木造非住宅分野を中心に JAS 構造材等を活用して、今後類似事例の拡大が期待できる建築を実証的に行う場合、JAS 構造材等の調達費の一部を支援します。

2. CLT 建築実証支援事業 612,564千円

① CLT を活用した実証的な建築物の建築に向けて、地域の関係者等が連携する協議会が策定する建築計画について公募・審査し、建築主体に他構造とのコスト比較を踏まえた設計から実証的建築にかかる費用等を支援します。

② 木質建築部材に関して、製造コストの縮減や、建築物の設計・建築に合理的に活用する技術の開発に向けた試験等を実施する民間団体等に対し、試験費用等を支援します。

3. 外構部の木質化対策支援事業

1,509,975千円 これまで木材が余り使われてこなかった非住宅及び住宅の外構部について、今後類似事例の拡大が期待できる木質化の取組を実証的に行う場合、木材の調達費等の一部を支援します。

<事業イメージ>

木材製品の消費拡大対策



非住宅分野等の建築物へのJAS構造材等の活用



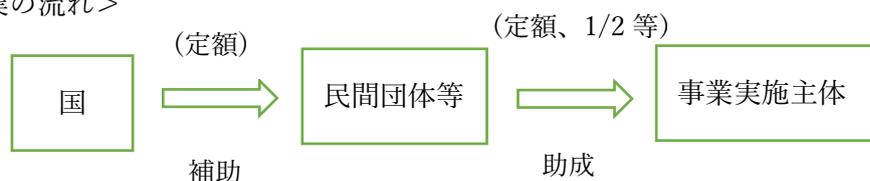
CLTを活用した設計・建築等の実証

木質建築部材の技術開発



木材の新たな需要先として見込まれる木製塀等の普及

<事業の流れ>



出入国管理及び難民認定法の改正について (平成31年4月～)

(趣旨) 人手不足の分野で一定の技能を持つ人を対象に新たな在留資格「特定技能」を来年4月に創設

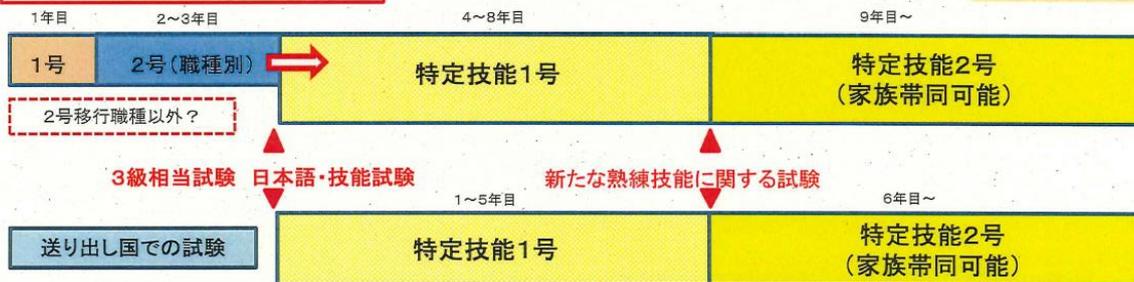
- 一定の知識・経験を要する業務に就く「特定技能1号」(最長5年)
- 熟練した技能が必要な業務に就く「特定技能2号」(在留期間の更新可能)
- ――という二つの在留資格の新設。

日本で働く外国人労働者



新たな労働者導入制度

(出入国管理及び難民認定法の改正案)



導入が予定されている14分野(業種)

- ①介護、②ビルクリーニング、③素形材産業、④産業機械製造、⑤電気・電子機器関連産業、⑥建設業、⑦造船・舶用工業、⑧自動車整備業、⑨航空業、⑩宿泊業、⑪農業、⑫漁業、⑬飲食料品製造業、⑭外食業 (赤字は、2号移行職種と全部又は一部が重なる職種)

林業、木材産業の対応

いずれにせよ「技能実習制度」における技能検定・技能実習評価試験の仕組みが必要

- ・木材産業においては、日本人向けの技能検定制度「機械木工」を活用した2号移行職種の導入を検討
- ・林業(素材生産業、造林業)においては、日本人向けの技能検定等の創設を検討

3



次世代住宅ポイントについて

次世代住宅ポイント制度の概要

平成31年度予算案:1,300億円

1 制度の目的・概要

2019年10月の消費税率引上げに備え、良質な住宅ストックの形成に資する住宅投資の喚起を通じて、税率引上げ前後の需要変動の平準化を図るため、税率10%で一定の性能を有する住宅を取得する者等に対して、様々な商品等と交換できるポイントを発行する。

2 ポイントの発行

「環境」、「安全・安心」、「健康長寿・高齢者対応」、「子育て支援、働き方改革」に資する住宅の新築・リフォームが対象。

■対象とする住宅(契約等の期間)

	契約	引渡し
注文住宅(持家)・リフォーム	・2019.4～2020.3に請負契約・着工をしたもの(※)	・2019.10以降に引渡しをしたもの
分譲住宅	・2018.12.21～2020.3に請負契約・着工し、かつ売買契約を締結したもの ・2018.12.20までに完成済みの新築住宅であって、2018.12.21～2019.12.20に売買契約を締結したもの	

※税率引上げ後の反動減を抑制する観点から、2018.12.21～2019.3に請負契約を締結するものであっても、着工が2019.10～2020.3となるものは特例的に対象とする

住宅の新築(貸家を除く)

発行ポイント数：1戸あたり上限35万ポイント

以下の①～④いずれかに適合する場合、1戸あたり30万ポイント

- ①エコ住宅(断熱等級4又は一次エネ等級4を満たす住宅)
- ②長持ち住宅(劣化対策等級3かつ維持管理対策等級2等を満たす住宅)
- ③耐震住宅(耐震等級2を満たす住宅又は免震建築物)
- ④バリアフリー住宅(高齢者等配慮対策等級3を満たす住宅)

※1 この他、家事負担軽減に資する設備の設置及び耐震性のない住宅の建替について一定のポイントを付与。(別紙「◎ オプションポイント」参照)

※2 上記に加え、より高い性能を有する住宅(長期優良住宅等)の場合には、ポイントを加算。(別紙「◎ 優良ポイント」参照)

住宅のリフォーム(貸家を含む)

発行ポイント数：1戸あたり上限30万ポイント

※ただし、若者・子育て世帯によるリフォームや一定の既存住宅の購入に伴うリフォームの場合は上限を引上げ(別紙【上限特例】参照)

- ①窓・ドアの断熱改修
- ②外壁、屋根・天井又は床の断熱改修
- ③エコ住宅設備の設置
- ④耐震改修
- ⑤バリアフリー改修
- ⑥家事負担軽減に資する設備の設置
- ⑦若者・子育て世帯による既存住宅の購入に伴う一定規模以上のリフォーム工事等

※ この他、既存住宅の購入に伴うリフォームの場合はポイントを加算。(別紙【算定特例】参照)

※ 若者世帯:40歳未満の世帯、子育て世帯:18歳未満の子を有する世帯

3 ポイントの交換対象商品等

「環境」、「安全・安心」、「健康長寿・高齢者対応」、「子育て支援、働き方改革」に資する商品等

4 ポイント発行申請の期間

○ポイント発行申請の期間:2019年6月頃～

次世代住宅ポイント制度の概要(発行ポイント)

(別紙)

住宅の新築(貸家を除く)

発行ポイント数：①+②+③の合計
1戸あたり上限35万ポイント

① 標準ポイント

①エコ住宅(断熱等級4又は一次エネ等級4を満たす住宅)	①～④いずれかに適合する場合、1戸あたり30万ポイント
②長持ち住宅(劣化対策等級3かつ維持管理対策等級2等を満たす住宅)	
③耐震住宅(耐震等級2を満たす住宅又は免震建築物)	
④バリアフリー住宅(高齢者等配慮対策等級3を満たす住宅)	

② 優良ポイント

①認定長期優良住宅	①～④いずれかに適合する場合、1戸あたり5万ポイント加算
②低炭素認定住宅	
③性能向上計画認定住宅	
④ZEH	

③ オプションポイント

家事負担軽減設備	ビルトイン食器洗機	1.8万ポイント
	掃除しやすいレンジフード	0.9万ポイント
	ビルトイン自動調理対応コンロ	1.2万ポイント
	掃除しやすいトイレ	1.8万ポイント
	浴室乾燥機	1.8万ポイント
	宅配ボックス	1万ポイント
	耐震性のない住宅の建替	15万ポイント

住宅のリフォーム(貸家を含む)

発行ポイント数：1戸あたり上限30万ポイント

【上限特例①】若者・子育て世帯がリフォームを行う場合、上限を45万ポイントに引上げ(既存住宅の購入を伴う場合は、上限60万ポイントに引上げ)

【上限特例②】若者・子育て世帯以外の世帯で、安心R住宅を購入しリフォームを行う場合、上限を45万ポイントに引上げ

断熱改修(内外窓、ガラス)	0.2～2万ポイント×箇所数
断熱改修(ドア)	2.4、2.8万ポイント×箇所数
断熱改修(外壁)	5、10万ポイント
断熱改修(屋根・天井)	1.6、3.2万ポイント
断熱改修(床)	3、6万ポイント
エコ住宅設備(太陽熱利用システム、高断熱浴槽、高効率給湯器)	2.4万ポイント
エコ住宅設備(節水型トイレ)	1.6万ポイント
エコ住宅設備(節湯水栓)	0.4万ポイント
耐震改修	15万ポイント
バリアフリー改修(手すり)	0.5万ポイント
バリアフリー改修(段差解消)	0.6万ポイント
バリアフリー改修(廊下幅等拡張)	2.8万ポイント
バリアフリー改修(ホームエレベーター設置)	15万ポイント
バリアフリー改修(衝撃緩和畳の設置)	1.7万ポイント
家事負担軽減設備(ビルトイン食器洗機、掃除しやすいトイレ、浴室乾燥機)	1.8万ポイント
家事負担軽減設備(掃除しやすいレンジフード)	0.9万ポイント
家事負担軽減設備(ビルトイン自動調理対応コンロ)	1.2万ポイント
家事負担軽減設備(宅配ボックス)	1万ポイント
リフォーム瑕疵保険の加入、インスペクションの実施	0.7万ポイント
若者・子育て世帯による既存住宅の購入を伴う100万円以上のリフォーム	10万ポイント

【算定特例】既存住宅を購入しリフォームを行う場合、各リフォームのポイントを2倍カウント(若者・子育て世帯による既存住宅の購入を伴う100万円以上のリフォームを除く)

木質建築部材・工法の普及・定着に向けた技術開発等支援事業の募集について

木構造振興株式会社

公益財団法人日本住宅・木材技術センター

事業の趣旨

我が国の森林は人工林を中心に利用期を迎えており、この豊富な森林資源を活かして木材製品の国際競争力の強化を実現するためには、これまで木材利用が低位であった非住宅や中高層建築物などの分野で木造化・木質化が推進されることにより、木材製品の新たな需要創出やコスト競争力の向上につながることが期待されています。

そこで本事業は、木質建築部材・工法の普及・定着に向けた技術開発、データ収集・規格化、技術者の育成等の事業についての提案を募り、具体的な需要につなげることを目的としています。

木構造振興（株）（以下、「木構振」という。）と（公財）日本住宅・木材技術センター（以下、「住木センター」という。）は、本募集要領に基づき共同で木質建築部材・工法の普及・定着に向けた技術開発等の事業（以下、「技術開発事業」という。）を募集し、優れた提案を選定します。技術開発事業の実施に当たっては、別に定める CLT 建築実証支援事業助成金交付規程（以下、「交付規程」という。）により その経費の定額を助成します。

公募する事業内容

木質建築部材・工法の普及・定着に向けた技術開発、データ収集・規格化、技術者の育成等を対象とします。また、提案される事業は、次の要件が考慮されていることが求められます。

- （１）コスト競争力の向上につながるもの。
- （２）木材製品の消費拡大に資するもの。
- （３）非住宅や中高層建築物などの分野での木材利用が推進されるもの。
- （４）実需者・エンドユーザー等需要側のニーズに的確に対応しているもの。
- （５）事業成果に一般性があるなど波及効果が期待できるもの。
- （６）先駆的な技術を用いるなどモデル性の高いもの。
- （７）提案した事業を 2020 年 2 月 20 日までに完了できるもの。

応募資格者

応募者は、民間団体等であって、以下の全ての要件を満たす者としてします。

- （１）木材の利用または木造建築物の建築、加工機械等に関する知見を有すること。
- （２）本事業によって得られた成果を広く公開・公表し、本事業で取り組む分野での地域材の利用推進を図る能力を有すること。
- （３）本事業を行う意思及び具体的計画を有し、事業内容を的確に実施する能力を有すること。
- （４）本事業に係る十分な経理的基礎及び適切な事務処理能力を有すること。

事業規模

本事業規模は助成額（国庫補助金額）として全体で約 194,000,000 円を予定しています。採択事業数の目安は 10 件程度としています。

公募期間

平成 31 年 3 月 8 日（金）～平成 31 年 4 月 8 日（月）13 時（書類必着）

住宅着工情報・製品市況

資料(1)全国住宅着工戸数

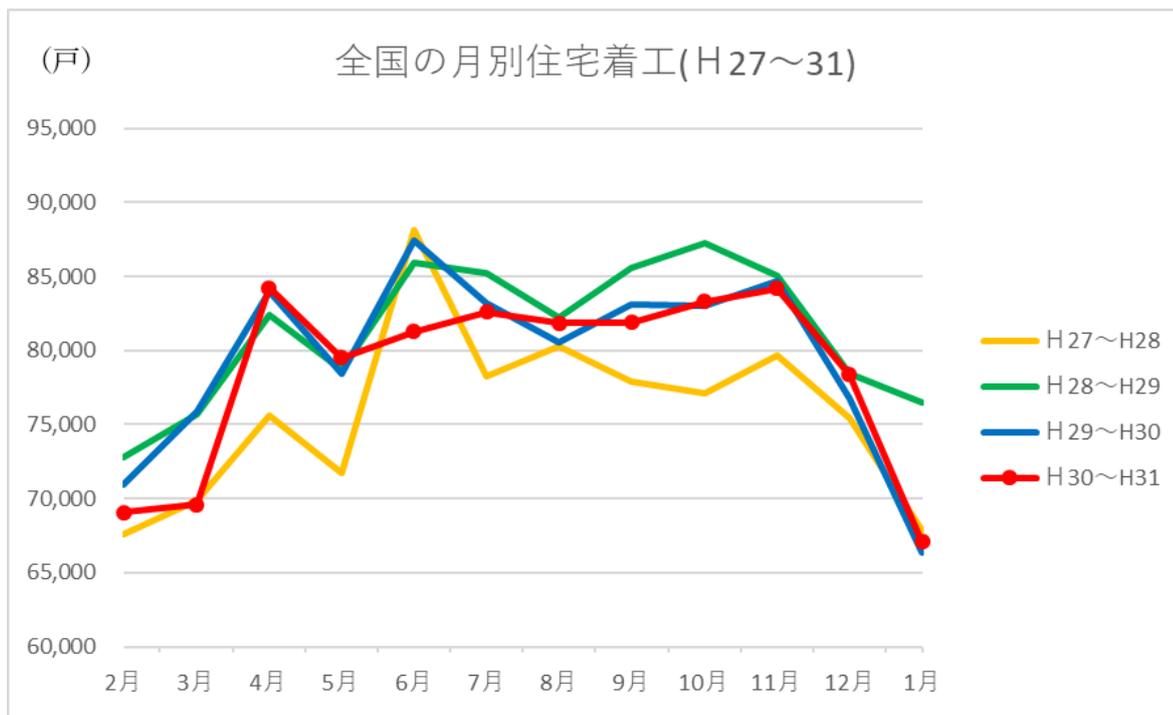
政府統計資料による

平成31年 1月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

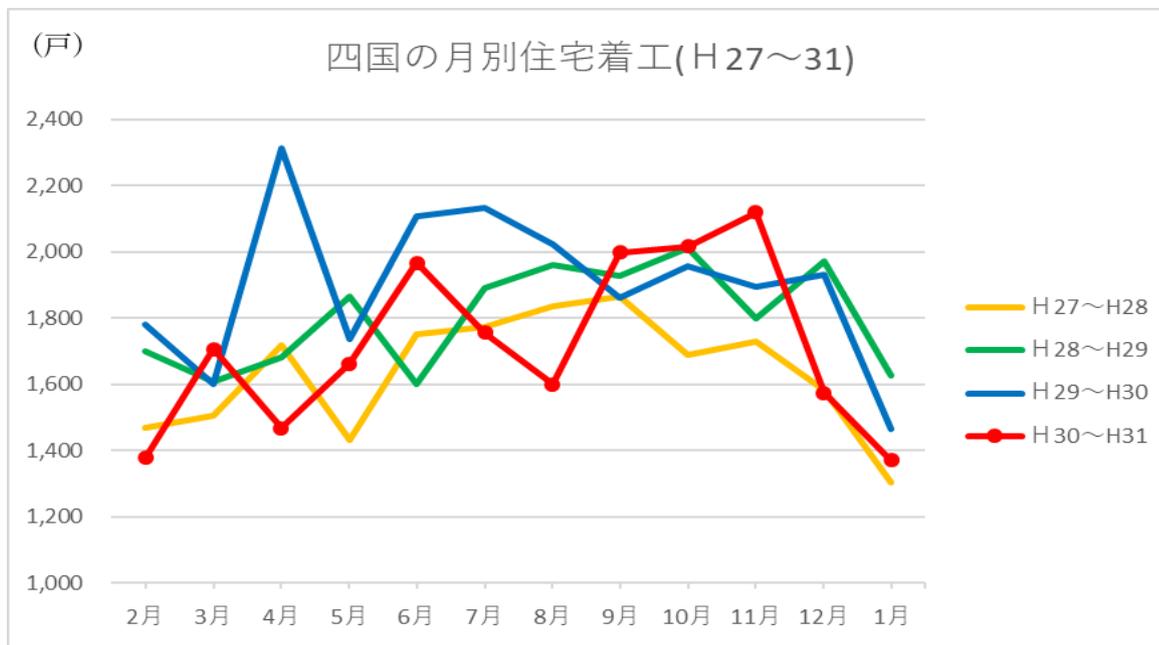
	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	1,466	3.9	608	16.5	670	-7.5	0	-100.0	188	14.6	0	0.0	188	14.6
青森	320	14.3	161	5.2	107	7.0	0	0.0	52	92.6	0	0.0	52	92.6
岩手	582	-6.7	306	-10.3	232	7.9	0	-100.0	44	-26.7	0	0.0	44	-26.7
宮城	1,423	8.0	418	-4.6	634	29.7	6	-45.5	365	-3.7	98	-27.4	258	13.2
秋田	229	2.7	128	14.3	84	3.7	0	0.0	17	-43.3	0	0.0	17	-43.3
山形	223	-37.7	128	-7.9	37	-78.2	1	-50.0	57	21.3	0	0.0	57	21.3
福島	676	-34.2	314	-23.6	217	-49.3	4	-	141	-25.4	0	-100.0	141	19.5
茨城	1,367	-0.1	711	5.2	447	-4.9	19	1,800.0	190	-14.4	0	0.0	190	-14.4
栃木	910	-10.2	503	8.9	250	-30.0	3	50.0	154	-19.8	0	0.0	154	-19.8
群馬	1,004	-9.1	564	11.9	281	-21.7	8	166.7	151	-36.6	0	0.0	151	-36.6
埼玉	4,083	-6.4	1,199	8.5	1,382	-30.1	3	-96.3	1,499	25.0	276	736.4	1,213	4.0
千葉	3,774	-5.3	1,024	-2.2	1,230	-20.7	247	461.4	1,273	-5.1	293	-23.3	973	2.5
東京	10,034	-4.7	1,111	-4.8	4,656	-16.2	76	72.7	4,191	11.5	2,697	15.9	1,429	4.2
神奈川	5,339	-1.6	1,086	-6.6	1,903	-21.1	9	-10.0	2,341	27.2	681	42.2	1,525	16.1
新潟	661	34.3	397	91.8	161	-29.7	2	-	101	80.4	0	0.0	101	80.4
富山	462	2.0	180	-17.1	104	-42.2	0	-100.0	178	223.6	130	-	39	-29.1
石川	490	2.1	234	14.7	181	-4.2	0	-100.0	75	-12.8	0	0.0	75	5.6
福井	292	32.7	149	19.2	123	95.2	2	-	18	-43.8	0	0.0	18	-43.8
山梨	530	2.5	317	4.3	167	-1.8	6	100.0	40	0.0	0	0.0	40	0.0
長野	713	-11.6	433	8.3	170	-49.1	0	-100.0	110	52.8	0	0.0	110	52.8
岐阜	809	9.8	436	8.5	199	-3.9	0	-100.0	174	38.1	37	-	137	8.7
静岡	1,897	-19.9	1,041	1.9	591	-11.8	5	-44.4	260	-61.1	0	-100.0	260	-24.9
愛知	4,993	10.5	1,527	1.7	1,527	-17.0	2	100.0	1,937	64.6	860	289.1	1,061	12.2
三重	612	-16.0	387	-1.3	142	-45.6	16	700.0	67	-9.5	0	0.0	67	-9.5
滋賀	503	-25.8	288	-5.0	113	-59.4	0	-100.0	102	6.3	0	0.0	102	6.3
京都	1,405	62.6	344	25.1	517	80.8	0	-100.0	544	80.1	353	201.7	183	-1.1
大阪	6,380	36.9	828	-3.4	2,692	34.6	7	-91.4	2,853	65.6	2,087	99.9	708	5.7
兵庫	2,364	15.2	663	5.6	874	2.3	13	1,200.0	814	43.1	412	128.9	402	3.9
奈良	418	-21.7	201	3.1	96	-54.5	1	-	120	-6.3	0	0.0	120	-6.3
和歌山	301	-26.0	201	-18.6	58	-34.8	0	-100.0	42	-40.0	0	0.0	42	-36.4
鳥取	148	-44.6	108	8.0	34	-78.5	0	0.0	6	-33.3	0	0.0	6	-33.3
島根	231	51.0	132	20.0	83	130.6	5	-	11	57.1	0	0.0	11	57.1
岡山	1,571	30.3	509	22.9	470	-26.2	4	33.3	588	286.8	494	626.5	90	7.1
広島	1,221	-1.6	388	-1.8	432	6.9	0	-100.0	401	-9.1	170	-6.1	231	-11.2
山口	611	6.4	337	12.7	216	2.9	4	300.0	54	-15.6	0	0.0	54	-15.6
徳島	257	-21.4	179	6.5	57	-54.4	0	-100.0	21	5.0	0	0.0	21	5.0
香川	368	-14.8	178	-14.4	159	112.0	0	0.0	31	-79.2	0	-100.0	31	-3.1
愛媛	542	14.6	293	12.7	183	4.6	2	-	64	68.4	0	0.0	46	21.1
高知	204	-12.1	124	17.0	60	-43.4	0	0.0	20	0.0	0	0.0	20	0.0
福岡	3,199	10.9	843	20.9	1,424	-4.9	10	-72.2	922	41.2	540	62.7	382	19.0
佐賀	384	-3.3	157	3.3	172	-5.5	0	-100.0	55	-11.3	0	-100.0	55	61.8
長崎	477	-6.1	225	-9.3	114	-44.4	4	300.0	134	148.1	98	172.2	36	100.0
熊本	1,289	16.8	567	-6.3	572	49.7	9	-35.7	141	36.9	0	0.0	141	36.9
大分	388	-33.6	221	13.3	111	-45.0	0	-100.0	56	-69.9	0	-100.0	42	-19.2
宮崎	398	-15.3	249	19.7	91	-50.0	6	200.0	52	-33.3	0	-100.0	52	18.2
鹿児島	469	-34.1	301	-14.0	64	-57.3	0	-100.0	104	-48.0	36	-65.4	68	-24.4
沖縄	1,070	-14.2	227	1.8	689	-10.6	1	-66.7	153	-38.8	106	-40.8	47	-33.8
合計	67,087	1.1	20,925	3.3	24,776	-12.3	475	18.2	20,911	19.8	9,368	43.6	11,190	4.2
北海道	1,466	3.9	608	16.5	670	-7.5	0	-100.0	188	14.6	0	-	188	14.6
東北	3,453	-9.8	1,455	-8.7	1,311	-11.6	11	-47.6	676	-7.7	98	-52.4	569	11.6
関東	27,754	-4.7	6,948	1.8	10,486	-20.5	371	95.3	9,949	11.7	3,947	22.5	5,785	4.0
北陸	1,905	15.8	960	27.5	569	-13.9	4	100.0	372	62.4	130	-	233	8.9
中部	8,311	-0.5	3,391	2.2	2,459	-17.4	23	64.3	2,438	19.2	897	65.2	1,525	2.2
近畿	11,371	23.7	2,525	0.8	4,350	17.0	21	-75.3	4,475	55.0	2,852	112.7	1,557	1.6
中国	3,782	9.9	1,474	11.8	1,235	-14.5	13	160.0	1,060	57.5	664	166.7	392	-7.5
四国	1,371	-6.4	774	4.3	459	-4.6	2	-85.7	136	-40.1	0	-100.0	118	7.3
九州	6,604	-0.8	2,563	4.4	2,548	-9.0	29	-56.7	1,464	9.6	674	0.9	776	17.2
沖縄	1,070	-14.2	227	1.8	689	-10.6	1	-66.7	153	-38.8	106	-40.8	47	-33.8
首都圏	23,230	-4.4	4,420	-1.4	9,171	-20.2	335	86.1	9,304	14.3	3,947	22.5	5,140	7.1
中部圏	8,311	-0.5	3,391	2.2	2,459	-17.4	23	64.3	2,438	19.2	897	65.2	1,525	2.2
近畿圏	11,371	23.7	2,525	0.8	4,350	17.0	21	-75.3	4,475	55.0	2,852	112.7	1,557	1.6
その他地域	24,175	-1.4	10,589	6.4	8,796	-12.5	96	-22.0	4,694	7.3	1,672	17.8	2,968	1.7

資料(2) 全国月別住宅着工数(平成 27 年 2 月～平成 31 年 1 月)



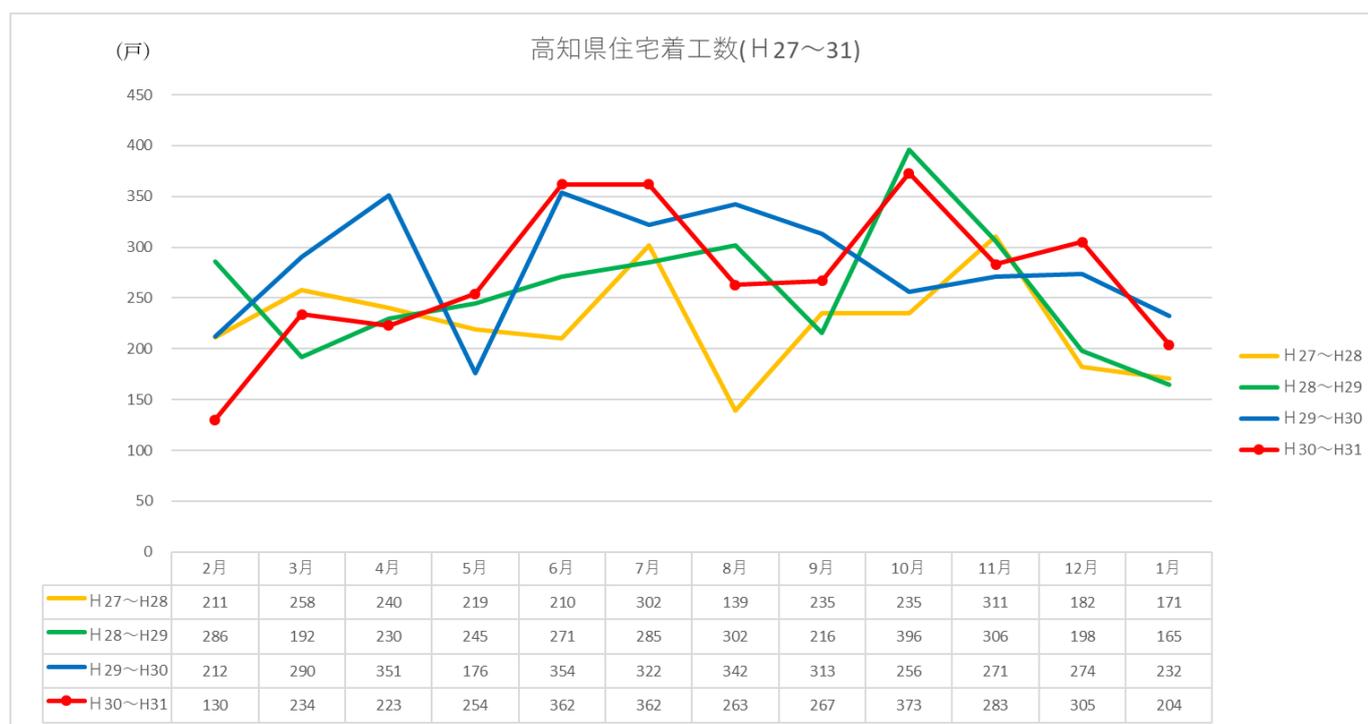
平成 31 年度 1 月の全国月別住宅着工数は 67,087(戸)と前年度同月の 66,358(戸)と比較すると 1.1%の増加となった。持ち家は 20,925(戸)と 3.3%の増加。貸家は 24,776(戸)と 12.3%の減少、分譲では 20,911(戸)と 19.8%の増加となった。

資料(3) 四国の月別住宅着工数(平成 27 年 2 月～平成 31 年 1 月)



平成 31 年度 1 月の四国の月別住宅着工数は 1,371(戸)と前年度同月の 1,464(戸)と比較すると 6.4%の減少となった。持ち家は 774(戸)と 4.3%の増加、貸家は 459(戸)と 4.6%の減少、分譲では 136(戸)と 4.0%の減少となった。

資料(4) 高知県の月別住宅着工数(平成 27 年 2 月～平成 31 年 1 月)



平成 31 年 1 月の高知県住宅着工数は 204(戸)と前年度と比較して 12.1%の減少。持家は 124(戸)の+17.0%。貸家は 60(戸)の-43.4%。分譲は 20(戸)で前年度と変わらず、全て分譲一戸建であった。



需要と供給のサイクルが回り出す ～大型製材工場は全丸太受け入れて集荷維持～

昨年からことしにかけて、国内で国産材を活用する IoT を活用した効率的な製造ラインの開発や国内製造による雇用重視などによって、工場が自国に回復しつつ方向は世界的な潮流になっており、日本の製造業も例外ではない。木材業界の場合は素材尾確保が大きな理由になるが、それでも国内新工場により素材関連などをはじめ地元雇用やお金の循環が生じることも間違えないだろう。

国産材の利用に舵を切って地域の国産材素材生産・供給に大きな影響を与えたのは合板工場だ。合板工場の国産材利用が活発化する以前、製材工場は一部の先進的な事例を除いて原木集荷の中心を原木市場に頼っていた。だが、合板工場は使用丸太の規格、工場着の買い取り価格を提示し、森林組合などとの連携も含め、誰からでも丸太を購入するという姿勢を取った。

当初の数年間、原木市場の価格が高くなれば材が流れてしまうなど思うように原木が集まらない状況も見られた。だが、最終的には支払いが正解で早く、小曲がり丸太を含めた一括供給が素材安定生産・供給にもつながることから、素材生産業者は徐々に積極的な対応を行うようになった。

後には、木質バイオマス発電向けや輸出用でも、チップ工場着や港着値で国産材丸太が売買されるようになっていく。今では製材用も含めて、こういった流通方式への取り組みが進んでいる。

製材工場は従来では考えられないような規模への拡大が進んでいる。東北、南関東では協和木材やトーセン、九州では中国木材日向工場などが原木消費量で年間 30 万～40 万 m³に達している。大手メーカーは、競合する国産材メーカーが台頭するなかで、山元から出てくる丸太の直材から曲がり、林地残材まですべて受け入れ、様々な加工とエネルギー利用などで素材を使いこなす方向を打ち出している。

素材供給側も、国産アイの大型化が進むにつれて徐々に対応を進化させてきた。東北地方で合板工場に向けて素材生産業者が連携したノースジャパン素材流通協同組合が嚆矢となり、現在では全国各地で同様の動きが進んでいる。大型製材工場への A、B 材供給にしても、近年の合板、発電用燃料、輸出用原木が安定した需要になっていることで、積極的な立木購入などに取り組むことができる。

森林組合もイメージが変わってきた。これまで、林野庁からの補助金の受け皿という機能だけが注目されていたが、現在は各地でメーカーから素材供給のとりまとめを依頼される場面が多くなってきた。ある森組幹部からは「久しぶりに原木供給の事業に燃えている」という声も出る。国産材輸出なども同様で、輸出事業を手掛ける商社や事業者などからも期待されるようになっている。

従来の国産材産地ではない地域に原木消費量で年間 10 万 m³規模の工場ができれば、当初は原木不足や、隣接地域との原木争奪なども起こるだろう。だが現在は全国各地で素材供給に対する意欲が向上し、先進地ではある程度のノウハウが積み重ねられている。尾形国産材工場需要を拡大し、素材生産・供給事業者はそれに応えるというサイクルが回り始めているのは確かだ。

木材自給率はじりじりと上昇しており、昨年は 36%台に乗せた。これは従来統計に入っていなかったバイオマス利用などが反映された部分もあるが、数字上だけでなく大型合板・製材・木質バイオマス発電工場への供給が進み、素材供給が実際に大きく変わっているのは明るい材料だ。

徳島開催

4/22(月) 14:00~16:00

徳島グランヴィオホテル



非住宅建築に

JAS規格の
構造材が
活躍しています。

「木のまちづくり」は 低炭素社会の実現に貢献

木材は、人と環境に優しい資材です。木材は地球温暖化の主因である大気中の二酸化炭素を固定しています。平均的な木造住宅では約6tの二酸化炭素が固定されており、「木のまち、いえづくり」は低炭素社会の実現に大きく貢献します。木の家には柱、梁、間柱、土台、床、壁などに製材、集成材、合板、フローリングなど、いろいろな木材製品が使われます。また、外構部を木質化することで、環境に配慮した街づくり、安全安心な通学路づくりなどできます。

JAS構造材を使うと安心 品質・性能が明確なJAS製品

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された構造材です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様に提供されており、安心してお使いいただけます。

詳しくは

一般社団法人全国木材組合連合会
JAS構造材利用拡大事業事務局へ

JAS構造材利用拡大事業：林野庁補助事業

<https://www.jas-kouzouzai.jp>

第54回全国木材産業振興大会（高知大会）

- 主催 （一社）全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会
- 大会担当 （一社）全国木材組合連合会四国支部
- 開催地担当（一社）高知県木材協会
- 大会期日 2019年11月6日（水）
- 開催場所
 - ・大会：高知市文化プラザかるぼーと 大ホール
 - ・懇親会：ホテル日航高知旭ロイヤル 3F ゴールデンパシフィック
（大会会場より徒歩約5分）
- 参加者数 大会：約700人、懇親会：約400人（予定）
- 行事内容
 - ・第1部：大会議事
（国歌斉唱、開会挨拶、祝辞、来賓紹介、大会宣言等）
 - ・第2部：記念講演
（講師：高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳 氏）
 - ・第3部：表彰式
（挨拶、祝辞、表彰、代表謝辞、次期開催地代表挨拶等）
- 大会スケジュール（予定）
 - ・11月6日（水）

第1部	大会議事	13:00～14:30
第2部	記念講演	14:30～16:00
第3部	表彰式	16:00～17:30
	懇親会	18:00～19:30
 - ・11月7日（木）
オプションツアー（県内、四国島内でコース選定中）

平成31年度 活動計画

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費地商談会事業	大阪 イケダコーポレーションセミナー(4/17)					
	東京 イケダコーポレーションセミナー(4/19)			インテリアライフスタイル(7/17~19)	かがわ家博サンメッセ(8/17~18)	
展示会事業	2019春HIKARIウッドステーション金沢土佐材フェア(4/12)	2019春山西プロウdstスタイルフェア(5/25~26)	第6回東京中央木材市場優良高知土佐材展(6/19)	西垣林業(株)名古屋市場土佐材展(7/17)	第9回ナイス福岡扇土佐材祭り(8/28)	2019秋岡山扇・竜野ナイスフェア(9/5~6)
	岐阜(株)山木商行土佐材フェア(4/20)					2019秋HIKARI金沢土佐材フェア(未定)
	愛知 新名(株)土佐材フェア(4/23)					
会議	JAS補助金説明会(4/22徳島)	土佐材流通促進協議会総会(5/24)				
		木材協会総会(5/30)				
イベント					スーパーよさこい(8/24~25)東京	

分類	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費地商談会事業	香川ウッドフェア(10/12~13)	ジャパンホームショー(11/13~15)	東京モクコレ(12/10~11)		広島ビジネスフェア(2/7~8)	
	大阪森林の市(10/27)					建築建材展(3/3~6)
展示会事業	ウッドワンダーランド2019ホートメッセ名古屋(10/3~6)	第5回高松太洋木材市場土佐材祭り(11/1)	第3回大阪木材相互市場年末謝恩市(12/10予定)		第10回優良土佐材見本市(未定)	2020春岡山扇・竜野ナイスフェア(3/5~3/6)
	2019秋山西プロウdstスタイルフェア(10/26~27)	第10回丸宇木材土佐材展(11/22)				
	木材まつり素材の部(10/24、県林材)	木材まつり製品の部(11/14、高木センター)				
会議		全国木材産業振興大会(11/6、高知市)				
イベント	第2回もくもくエコランド(10/26~27)	幡多山もりフェス(11/3or10予定)				

行事予定

4月	12日(金)	HIKARI ウッドステーション金沢土佐材まつり(石川県)
	18日(木)	第54回全国木材産業振興大会 四国支部実行委員会(高知会館)
	20日(土)	(株)山木商行 土佐材フェア(岐阜県)
	22日(月)	JAS 構造材利用拡大事業・外構部木質化事業・ クリーンウッド法説明会(徳島県)
	23日(火)	新名(株)土佐材フェア(愛知県)
5月	24日(金)	土佐材流通促進協議会総会(ちより街テラス)
	25~26日(土日)	山西プロウッドスタイルフェア春(愛知県)
	30日(木)	高知県木材協会総会(高知会館)

次世代へつなぐウッドファースト社会目指し

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす



(一社)高知県木材協会

〒780-0801 高知県高知市小倉町 2-8

TEL 088-883-6721 FAX088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com/>

協会だより編集担当からのご挨拶

私事で恐縮ですが、4月より家族と共に関東地域に移り住むこととなりました。

これまで皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。 福原 絵梨